

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	小百合ホーム
------	--------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和2年10月17日

③事業者情報

名 称：小百合ホーム	種 別：児童養護施設
代表者氏名：	定員（利用人数）44名（36名）
所在地：〒870-0267 大分市城原2600-10	
TEL：097-592-0044	

④総評

◇評価の高い点

【理念、基本方針が明文化され周知が図られている。】

理念や基本方針については、パンフレットやホームページに記載されている。施設の使命や目指す方向については、職員に毎年4月配布する養護計画書「運営理念・基本方針・行動規範・職員の心得・サレジアンカラー(私たちの目指す姿)にまとめられている」に明文化され、全体会や毎週金曜日開催の職員会議の場で継続的に周知が図られている。

【中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。】

児童養護施設「小百合ホーム」の新しい社会的養護ビジョン推進計画が策定されている。その内容は、事業展開に関する計画（建物、人の問題）を計画立案。多機能化、高機能化に向けてハード面、ソフト面を整えることなど、計画が策定されている。

【養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。】

施設長は、運営会議等養育・支援の質の向上について具体的体制を構築している。ケース会議や各会議に参加し、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に年間3回の個別面談を含め、評価・分析を行っている。施設長は「第三者委員のあり方を具体的にすることを言い」養育・支援の質の向上をめざしていることは、特徴的なことである。

【子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。】

2020年度養護計画書に明記、全体会、職員会議で周知徹底について取組を行っていることを職員から確認した。人権擁護の自己チェックリストを使用して、子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行っている。

る。

【子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。】

退所後の生活に向けて早い時期からの進路相談や自活訓練を実施している。アフターケアセンターとともに、退所後の支援計画書を立案するとともに、退所後の状況把握や退所者の集まる機会の確保など積極的に取り組んでいる。

【生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。】

体験を通して基本的な生活習慣が確立できるよう、大人が基本を示す姿勢を職員で共有し取り組んでいる。生活するうえで守るべき決まりや約束はユニット内で子どもたちで話し合い実践できるよう取り組んでいる。

◇改善を求められる点

【子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。】

子どもや保護者等への情報提供については、パンフレット等わかりやすい工夫を期待する。

【子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。】

少しでも不安が軽減できるよう、子どもの目線で書かれた入所のしおりや退所のしおり等を作成し、困ったときはいつでも開けるようにしておくなど、さらなる取り組みを期待する。

【職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。】

アルバイトや携帯電話の使用についての規約は子どもとともに確認するものであることから子どもに分かりやすい様式や記述方法で「約束事」として子どもに理解されるような取り組みになるよう期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回3度目の受審となり、マニュアルの再確認等よりよい子どもの支援に向けて、全職員で見直すよい機会となりました。

支援内容を深めていき、職員のスキルアップに向けての取組を現在進めております。

改善項目を今後の課題とし、取り組んでいきたいと考えます。

今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）